

授業科目名	教育方法・技術			授業形態	講義		授業科目区分		教職科目 (教職)
担当教員名	中本 浩揮						補助担当者名		
単位数	2 単位			履修年次	2年次		受け入れ人数	200名程度	
授業の概要	本講義では実践で生きる教育技術として、説明や発問あるいは板書スキルに関する基礎知識、そうれらを活かしたプレゼンテーションの実際、心理学的知見に基づく学級の組織運営や教授方法、さらには、社会的スキル獲得に関する授業計画について学習する。また、教育メディア活用方法についても取り扱う。これらの学習により、教育現場のリーダーとしての豊かな知識・技術を身につけることを目指す。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
				授業期間				定期 試験	その他
	授業	テスト	レポート	発表					
	■認知的領域	教育方法に関する理論と歴史についての知識を身につける。 効果的な教育技術や背景理論に関する知識を身につける。		○	○		○		50
	■情意的領域	教育技術の知見を教育実習や教育現場を想定しながら、積極的に学ぶ意思を持つ。	○						10
■技能的領域	講義で身につけた効果的な授業スキルの知識を用いて、実際にプレゼンテーションができる。 グループワークを通して、組織開発ができる。	○		○	○			40	
成績評価の基準	小テスト、授業後の感想、レポート、及び学期末試験を実施する。これらを総合して成績評価を行う。出席2/3未満の者は放棄扱いとし評価しない。								
テキスト、教材 参 考 書	テキストは使用しないが、必要に応じて資料を配布する。								
履修条件・ 関連科目	特になし			備考(教員メッセージ含む)		受講者数が多いため基本的に1年生の受講は認めない。			
オフィス・アワー	随時								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	中本 浩揮	教育の方法・技術とは？							
2	〃	授業における「説明」の方法と技術							
3	〃	授業における「発問」の方法と技術							
4	〃	学級集団の理解と指導① 指導形態と教授方法～個別指導～							
5	〃	学級集団の理解と指導② 指導形態と教授方法～グループ指導と一斉指導～							
6	〃	学級集団の理解と指導③ 教師－生徒関係と生徒－生徒関係							
7	〃	板書スキル① 板書の基本と板書の機能							
8	〃	板書スキル② 黒板を使ったプレゼンテーション演習							
9	〃	学級づくりの方法・技術① 学習意欲を引き出すコンセンサス技法							
10	〃	学級づくりの方法・技術② 社会的スキル							
11	〃	学級づくりの方法・技術③ アサーショントレーニング							
12	〃	児童・生徒の心をサポートする方法・技術 ～イラショナルビリーフとリフレーミング～							
13	〃	教育評価① 評価と指導の一体化							
14	〃	教育評価② 教育評価の実際							
15	〃	教育メディアとその活用					期末試験に向けての復習		
16	〃	学期末試験							